

ラーシク が誕生しました!!



性格

牛久市公式キャラクター ラーシク 心やさしきうしくの怪人

●まちの活性化に主眼を置き、エネルギーに満ち溢れています。

●めげない・へこたれない・あきらめない・頑張り屋さん。

●粘り強く立ち向かう、起き上がり小法師こぼうしのような性格。

●牛久市民みんなの味方!

●悲しいこと、辛いこと、楽しいこと、なんでも受け止めてくれるみんなの受け皿になります。

●強い使命感を持って牛久を見守っています。



頭の嬉し飾りセンサーは、感情が高まるとグルングルン回る。

背中には7角形の「幸せ星★」のパッチが縫い付けられている。

ボディにあるハートのポケットからサインペンを取り出し気軽にサインする。

ポケットには大事なものがしまっており、また、みんなの相談箱でもあり、悩み相談にもなる。

©SHINOBU ARIGA

大勢の中にあっても埋もれないキャラクター

「ゆるキャラ」が乱立している世の中ですが、単にかわいらしさは狙わず、地方の農産物や特産物などにもこだわらず、まったく新しい五感の創出と、大勢の中にあっても埋もれない強さを持ったキャラクターが誕生しました。

キャラクターを作成したのは、今のママ世代におなじみの「こんなこいるかな」の作家である絵本作家の「有賀 忍」先生です。有賀先生は、「現代童画大賞」や、「文部大臣奨励賞」など数々の賞を受賞している素晴らしい作家。

NHKテレビ「おかあさんといっしょ」では「こんなこいるかな」が昭和61年から平成9年まで放送されていました。

世代を超えてみんなに愛されている作品を手掛ける有賀先生の手によって、親子で楽しめるキャラクターとなりました!

「うしく」という地名から「うつくしく、うるわしく、あいらしく」を連想し、さらには、「あなたらしく、わたしらしく、じ

プロフィール

板絵画家／絵本作家／子ども教育研究（創造的造形遊び） **有賀 忍** 先生（ARIGA SHINOBU）



信州で幼少期を過ごす。板を彫り描く[板絵]と[絵本]を制作して40年。音楽、社会の教科書、絵話しの雑誌連載等、子ども関係の仕事に携わる。相模女子大学 子ども教育学科および江戸川大学こどもコミュニケーション学科立ち上げに参画。専門は子どもの遊び、ことに[創造的造形遊び]を研究している。

◆絵本

「こんなこいるかな」（日本図書センター）、「クレヨンまる」（小学館）、「マリーとのうさぎ」（有朋社）、「ガムッチおうじと どんぐりのき」（長野県）、「ほしの よる」（サンパウロ）他。有賀忍板絵作品集[懐郷の詩]（日貿出版社）

◆板絵個展

東京、神戸、明石、姫路、松山、岡谷、鎌倉、駒ヶ根にて個展

◆Awards

松濤美術館公募展優秀賞、現代童画展奨励賞、現代童画大賞、文部大臣奨励賞 他

♪♪《きみが いるから おもしろい》♪♪ **こんなこ いるかな**



いたずらこの たずら

こわりやの ふる

いやだいやだの やだもん

ちらかしやの ぼいっと

くいんぼうの もくもく

わずれんぼうの ぼっけ

したがりやの なあに

わらいんぼうの げらら

あいていあまんの びかっと

いつもしんせつな ほっぴ

まねこの まねりん

かんぼりやの がんがん

©SHINOBU ARIGA 2015

有賀 忍先生よりメッセージ ～ラーシクに託す思い～

—— あなたらしく／わたしらしく／じぶんらしく／うしくらしく ——

広報紙を見て牛久市が、子育てや教育にとっても熱心な市だと感じました。

子ども教育が専門の大学の先生に話すと、「当然のこと」のようにご存知でした。ぼくは、自分のことのように嬉しく思いました。その地のキャラクターを全力を注いで作る覚悟を決めたのです。

もう30年も前のことです。NHK「おかあさんといっしょ」で放送の『こんなこいるかな』、12人のキャラクターを制作しました。そのコンセプトが「世の中には色々な子どもがいる。みんな違っていい、比べるものじゃない」でした。

牛久市のキャラクターにも、その精神をこめました。世はゆるキャラブームですが、地方の物産などをモチーフにしたものがほとんどです。牛久は「心意気」をテーマで行こうと考えました。心意気は「誇り」に繋がります。人を認める、大事にする…これは自らを認め、誇りを持つ…比べることなんてナンセンス、愚の骨頂です。

あなたらしく／わたしらしく／じぶんらしく／うしくらしく…キャッチコピーも作りました。100人いたら100の個性、1000人いたら1000の輝き！牛久の人々がみな笑顔でいられたらなんと素敵なことでしょう。人を愛し自分を愛す！誇りを持った牛久市民に乾杯！

ラーシクは幸運の守り神です、[きっと きっと、いいことが] …

怪人ラーシク、牛久市から発信します！



©SHINOBU ARIGA

これから
サブキャラクターの登場や
色々な仕掛けもでてくるよ♪
お楽しみに！！

ぶんらしく、うしくらしく。人間は一人ひとりみな違うもの。牛久の市民がそれぞれに「自分らしく生きる」こと。それが結果として牛久のまちを輝かせる。よつてもっとも大切なネーミングは「ラーシク」に決定しました。

制作段階で、偶然にもキャッチコピーを依頼していた広告代理店からのキャッチコピー案の中に「じぶんらしく」というキーワードがあり、やはりこれしかない！と決定打になったという経緯があります。

牛久の怪人「ラーシク」の性格は、まちの活性化に主眼を置き、旺盛なエネルギーに満ち溢れています！

牛久を見守る、こころやさしくうしくの怪人「ラーシク」が牛久を盛り上げていきます！仲間良くしてくださいね。